

クローバー Clover

特集

「仕事と介護の両立支援に関する豊田市の実態」

- ▶ つながる・ひろがる 事業所の取組の輪
- ▶ 目指せ! ナイスなミドルエイジ
- ▶ わたし^{スタイル}Style
- ▶ クローバーコール / ある日の相談室
- ▶ ホームページをリニューアルしました

「とよた男女共同参画プラン」では人の生涯をクローバーにみたて、それぞれのライフステージを葉の一枚で表現することとし、広く親しんでいただけるよう通称を「クローバープラン」と名づけました。

このクローバーのマークには、どのライフステージにおいても充実した生活を送ることができる「バランスのとれた社会」をめざすという意味合いも持たせています。

キラッ☆とよた(とよた男女共同参画センター)

〒471-0034 豊田市小坂本町1-25

豊田産業文化センター2階

TEL(0565)31-7780 FAX(0565)31-3270

E-mail clover@city.toyota.aichi.jp

ホームページ <http://clover-toyota.jp>

豊田市

仕事と介護の両立支援に関する

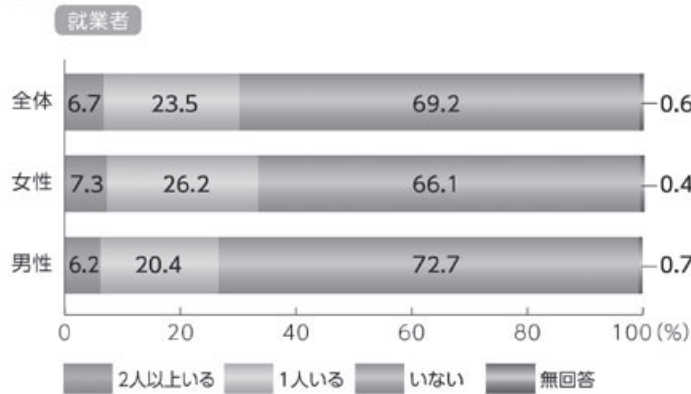
キラッ☆とよたでは、平成27年10月に市内の40～50歳代の男女各1,000人及び518社の企業・事業所を対象に、仕事と介護の両立についての認識、考え方や環境、職場における両立支援の状況などについてアンケートを行いました。ここでは、その概要と豊田市（キラッ☆とよた）及び国の両立支援制度や市内事業所の取組事例を紹介いたします。また、調査結果の詳細は、キラッ☆とよたのホームページに掲載しています。

介護の状況について

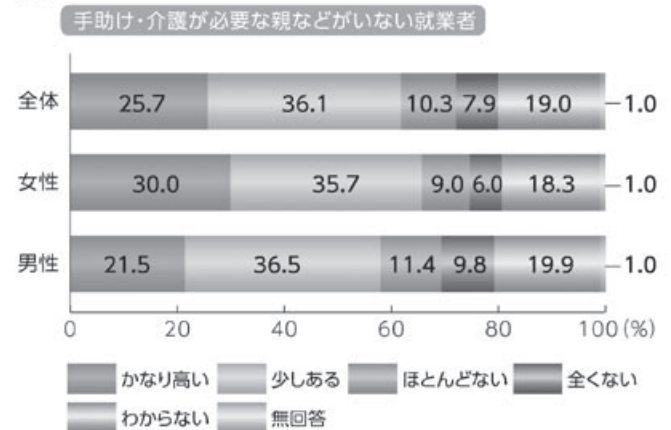
6割以上の人が近い将来、介護に携わる可能性があります

手助け・介護が必要な親などがいる就業者は約3割で、「いない」と回答した就業者でも今後5年間で必要となる可能性が「かなり高い」「少しある」と回答した人があわせて6割を超えています。

手助け・介護が必要な親などの有無



親などに手助け・介護が必要になる可能性



勤務先の両立支援制度の利用状況について

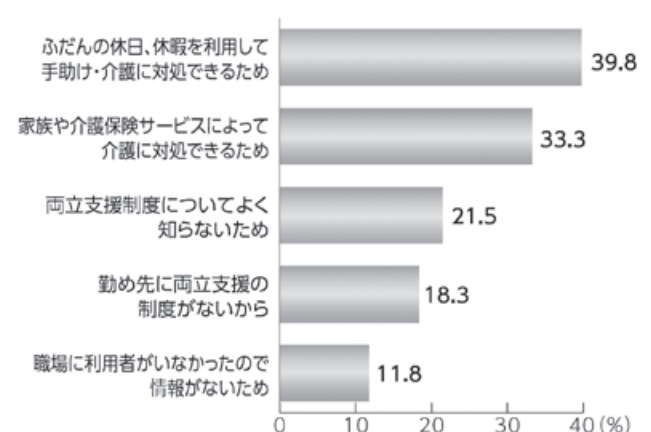
多くの人が、勤務先の制度を利用せずに介護に対処しています

手助けや介護が必要な親などがいる就業者でも、現状では、勤務先の両立支援制度を「利用している」人は一部にとどまり、ふだんの休日や介護保険サービスを利用し、家族と協力することで介護に対処しています。

勤務先の両立支援制度の利用



勤務先の両立支援制度を利用しない理由 (上位5項目) 制度未利用者



利用している両立支援制度

介護休業	1.6%
介護休暇	1.6%
勤務時間の柔軟化	3.3%
遅刻、早退又は中抜けなどの柔軟な対応	8.2%

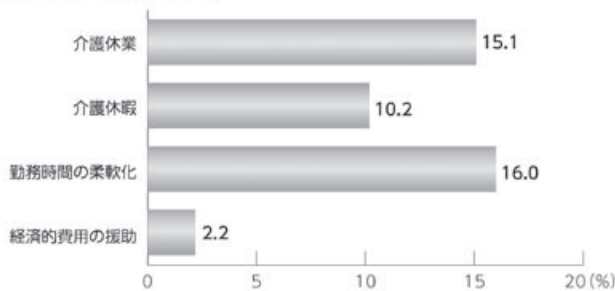
企業の両立支援実績と課題について

両立支援実績は全て2割未満、課題は状況把握と業務配分の改善

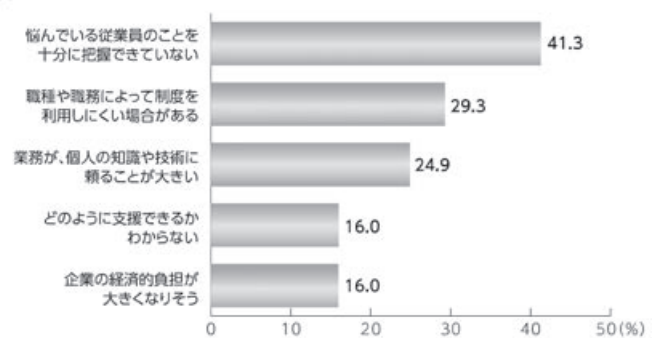
両立支援の実績をみると、正社員について、介護休業、介護休暇、勤務時間の柔軟化について「実績がある」はそれぞれ2割を大きく下回っており、実績のある企業は一部にとどまっています。

また、多くの企業で「悩んでいる従業員のことを把握できていない」ことが1番の課題となっています。

支援実績（正社員）



仕事と介護の両立を推進する上での課題（上位5項目）



各種両立支援制度・助成制度について

今回のアンケートには多くの市民の皆さん、事業所の皆さんにご協力いただきました。誌面をお借りして心より感謝申し上げます。市民の方や事業所の方ともに、両立支援制度の実績が少ないことがわかりました。そこで、ここでは市や国が行っている仕事と介護の両立支援に向けた支援制度や助成制度について紹介します。是非ご活用ください。

(※ 各制度の詳細については、それぞれのホームページ等で確認してください。)

1 豊田市の事業・制度 (URL: <http://clover-toyota.jp/topi-cate0402/862.html>)

- ・市民団体との共働によるワーク・ライフ・バランス推進事業
市が委託した市民団体が事業所を訪問し、各事業所に必要又は求められる取組やアドバイスを行っています。
- ・アドバイザー・講師派遣事業
事業所における個別の問題解決のためのアドバイザーや研修のための講師として、コンサルタントや社会保険労務士などの専門家を無料で派遣します。

2 国の両立支援制度 (URL: <https://www.ryouritsu.jp/bn01.html>)

- ・介護取組助成金（厚生労働省：平成28年度新設）
労働者の仕事と介護の両立に関する取組を行った事業主に助成をします。【支給額：60万円】
- ・中小企業両立支援助成金 育休復帰支援プランコース（厚生労働省）
「育休復帰支援プラン」を策定及び導入し、対象労働者が育休取得した場合及び復帰した場合に中小企業事業主に助成します。（平成28年度の後半からは、介護休業についても対象となる予定です。）

取組事例の紹介

市内事業所で行われている仕事と介護の両立支援に向けた取組の事例を一つ紹介します！

●従業員向けアンケートの実施（株式会社アイサク【製造業】（広久手町）実施事例）

- ・取り組んだ理由：キラッ☆とよたの事業所向けセミナーに参加し、介護離職が大きな問題となることを知ったため。
- ・取り組んだ内容：仕事と介護の両立に関するアンケート調査の実施（実態把握）
- ・結果とその後の対応：従業員の状況や不安に感じていることや会社に期待する支援内容など、全体的な傾向を把握することができた。「既に介護経験がある従業員」や「制度について知らない従業員」が多いことが判明し、制度の説明機会を設けるなどの対応につながった。

つながる

ひろがる

取組の輪

ワーク・ライフ・バランス（仕事と家庭生活の調和）や女性の活躍の推進は、取り組む事業所の数も増えてきたことにより、少しずつ浸透してきました。そうした中、一つひとつの事業所の取組が社会全体の推進へと結びつくよう、「つながる・ひろがる」新しい風が吹きはじめています。

これから取組を始めよう、新たな視点から課題を探ろうと考えている事業所にとっても、大きな追い風になりそうです。

つながる ～情報の共有に向けて～

課題を見つけるポイントや解決に向けた取組、その効果など「欲しい情報」と「発信したい情報」は、共有することでつながります。企業や組織同士、行政などが“連携”することにより、大きな相乗効果を生みます。

ひろがる ～社会全体の推進に向けて～

取り組む事業所が増えること、つまり取組の輪が広がることが、社会全体の推進に結びつきます。一つひとつの事業所の“自ら行動”こそが、社会全体を変える一番の原動力です。

プチっと情報

平成26年に発足した内閣府・輝く女性応援会議「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」の行動宣言や、NPO法人ファザーリング・ジャパンが提唱する「イクボス」、そして「イクボス企業同盟」は、共通して“自ら行動する”とともに“発信”“連携/ネットワーク”を掲げています。

※「イクボス」は
情報誌クローバー第30号でも取り上げました！

追い風はここ豊田市でも ～「はたらく人がイキイキ輝く事業所表彰」を通じて～

平成25年にスタートした「はたらく人がイキイキ輝く事業所表彰」を受賞された事業所は、既に37社となりました。その中には、事業所向けセミナーや講演会などで発信者として取組や効果を直接紹介していただいたり、受賞事業所同士のつながりから、新たなかたちの取組も生まれています。

「一歩先に行く課題のを見つけ方や取組の視点を知りたい」「自社のノウハウを他社の取組に役立てたい」「同じような課題を抱えている事業所の取組とその効果が知りたい」このような声が、実際にカタチになった例を3つご紹介します。



ワーク・ライフ・バランス推進に向けた共働事業の事業所向けセミナーでは、平成27年度に受賞されたアンシン建設工業様をお迎えし、自社の取組を紹介していただきました。



平成27年度の受賞が縁で、受賞事業所同士の新しい連携が生まれ、キューピー(株)孝母工場様の復職セミナーを開催する際に、第一生命保険(株)豊田支社様が協力しました。

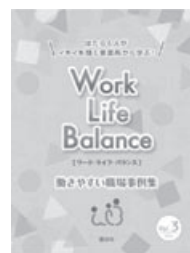


豊田商工会議所青年部・キラッ☆とよた合同研修会では、平成26年度受賞された青年部の会員でもある(株)みどり造園様に自社の取組を紹介していただきました。

一つひとつの事業所の取組が広がることで、社会全体が変わります！

キラッ☆とよたでは、「はたらく人がイキイキ輝く事業所表彰」を受賞された事業所の取組を紹介する事例集の作成・配布による啓発や情報の発信とともに、事業所向けセミナーや講演会、各種キャンペーンなどの開催を進め、事業所の取組の輪を広げていきます。

好結果が好循環する社会、さまざまな連携が大きな相乗効果を生む社会を目指して、皆様の事業所も、一緒に輪の中に入りませんか？



「豊田市ワーク・ライフ・バランス キャンペーン2016」11月12日（土）～23日（水）

期間中の11月15日（火）には、第4回はたらく人がイキイキ輝く事業所表彰 表彰式とともに、事業所向けセミナーを開催します。詳しくはキラッ☆とよたホームページで近日公開！



目指せ！

ナイスなミドルエイジ

最近、「イクメン」（積極的に育児をする男性）という言葉も浸透し、妻と夫が協力して育児や家事を行うことが珍しいことではなくなってきました。しかし、今の子育て世代の親世代はというと、必ずしもそれが当たり前ではなかったかも…？

このページでは、世代間ギャップに驚くある男性の姿から「価値観の多様性」について考えます！

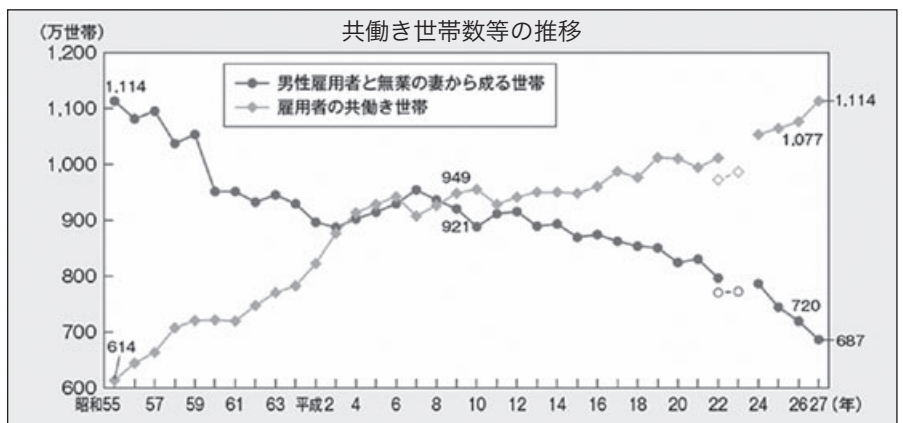


いかがでしょうか？身に覚えのある方も、「今時、抱っこひもくらい当たり前」と感じる方もいらっしゃると思います。

下図をご覧ください。近年、共働き世帯数は増加の一途で、今では専業主婦世帯数の約2倍です。昭和55年には、専業主婦世帯数が共働き世帯数の約2倍だったことを考えると、家庭の在り方が大きく変化していることが分かります。今の若い世代の子育て事情と、親世代のそれとでは、違いがあっても不思議なことではありませんね。

「自分のときはこうだった…」と、嘆き(?) なくなる気持ちもあるかもしれません。しかし、親が、あるいは上司が、ありのままの姿を応援してくれたら、子育て世代の方々はどうなるに心強いでしょう。

子育てに限らず、様々な場面で、自身が培ってきた実績と、これからの世代の考え方、両方大切にして、多様な価値観を受容できるオトナが増えたら、あらゆる人が豊かに暮らしやすい社会になることでしょう。皆さんはどう考えますか。



【出典】平成28年度男女共同参画白書（内閣府）

スタイル わたしStyle

《自分らしさを認め合える社会に》
自分らしさを見つけると、他の人のその人らしさも素敵に見えます。
そんなお互いの“らしさ”を認め合える社会が男女共同参画社会です。
桜梅桃李に自分らしく輝く人を紹介します。



専業主婦生活で自分に納得できた だから次のステップにチャレンジしたい！

Q仕事を辞めて専業主婦を選んだ理由は？

➡➡➡ 自分に納得できる生活がしたい。

歯科技工士と歯科助手の資格を持っていて、歯科医院に勤めていたが生活すべてが中途半端になって、周囲にも負担をかけているかも？と感じていました。

Q実際、専業主婦生活はどうでしたか？

➡➡➡ 自分に納得できたけど不安もあります。

ゆとりができたせいか、子どもから「怒らなくなったね」と言われました（笑）お料理やお菓子作りが好きで、作ったものを写真にしてSNSにアップしたりしています。家族の喜ぶ顔を見て、専業主婦生活の自分に納得ができました。その一方で、社会から取り残されるような不安を抱えていたのも事実です。パン作りが得意な友人がお店を出したことも、本当に素敵だなんて見えました。

Qこれから「自分らしさ」をどう実現していきたいですか？

➡➡➡ 歯科技工士の技術をブラッシュアップしたい。

いずれは歯科技工士の勉強会に参加して技術をブラッシュアップし、持っている資格を生かしたいです。

三代 咲江さん



主婦
歯科技工士・
歯科助手の
有資格者
料理好き♪



保育でもダンスでも互いの良さを 引き出すには「型にはめない」こと

Q保育師という職業を選んだ理由は？

➡➡➡ ダンスで生活していこうか迷っていた時、園児の踊りに興味を引かれました。

こども園の発表会で見た園児の踊りに興味を引かれて保育師になることを決めました。

Qこども園に勤め始めて職場での反応はどうでしたか？

➡➡➡ 職場研修などを行い働きやすい環境です。保護者にも温かく接してもらっています。

私は豊田市で7人目の男性保育師ですが、先駆者のおかげで働く環境も整い、理解ある職場です。

Q自分らしい保育の仕方や、役割分担ではないけれど男性だからできる仕事ってありますか？

➡➡➡ それぞれに得意な保育の仕方が違うことに気づいてからは自然体の保育に。お父さんの育児参加に一役買ったのは男性保育師だからやりやすかった。

職場の先輩（=女性）のマネをして仕事を覚えようと、エプロン姿から入りました（笑）でもなかなかうまくいかず…。そんなとき、豊田市男性保育師連盟の仲間と語り合い、自分らしい保育の仕方に気づきました。

園の雰囲気に対し不慣れなお父さんたちに私から声をかけ、運動会ではお父さんのダンスを披露しました。子どもにも大ウケでしたが、なによりお父さん自身が楽しんでくれたのがうれしかったです。

松本 恭平さん



豊田市の公立
こども園の保育師
ダンスサークル
KARAdmin's代表



※豊田市では、公立こども園は「保育師」という表記をしています。

女性のための電話相談室

無料

秘密厳守



「クローバーコール」

あなたのために
あなたの周りの
大切な人のために…

(0565) クローバー
☎ 33-9680

・毎週 火・木・金・土曜日
・毎週 水曜日

午前10時～午後4時まで
午前10時～午後1時まで
午後4時～午後7時まで

【年末年始・祝日休み】

毎年11月12日から25日は、国が定めた「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。また、毎年11月は「児童虐待防止推進月間」にもなっています。このページでは、DV（※1）と虐待の関係について考えます。

DVと虐待はつながっている



「配偶者からの暴力のある家庭では、高い割合で子どもに対する暴力が振るわれている」と言われています。子どもへの虐待は、殴る・蹴るなどの直接的なものばかりではありません。子どもの前で「ダメな母親だ」と言ったり、配偶者に暴力を振るうことも「心理的虐待」に当たると定義されています。

DVも虐待も、夫婦や親子という親密な関係の中で振るわれる暴力なので第三者からの発見が難しく、問題が表面化しにくい傾向にあります。

一人で悩まず相談を

もし、あなたの身近な人がこのような問題に直面していたら、専門の相談機関に相談するよう声をかけましょう。暴力の被害にあっていて人の中には、「自分にも悪いところがある」「世間体が悪い」などと心配し、相談することをためらってしまう人もいます。被害にあっていて人が相談することは勇気が要ることです。今以上に深刻な状態になる前に、あなたが相談機関の連絡先や情報を教えることだけでも有効です。

女性のための電話相談室「クローバーコール」では、女性が抱く様々な悩みの相談をお聞きします。あなたの大切な人や、あなた自身を守るために、ぜひ活用してください。



（※1）ドメスティックバイオレンスの略。夫や恋人など親密な関係にある（又はあった）人から振るわれる暴力のことをいいます。暴力には、殴る蹴るなどの身体的な暴力のみならず、威嚇する、生活費を渡さない、仕事に就かせない、性行為の強要など精神的な苦痛や経済的な抑圧なども含まれます。

—ある日の相談室—

■子どものことを思うと、離婚に躊躇してしまう

（相談内容から創作したものです）

夫は機嫌が悪いとイライラして大きな声で怒鳴ります。先日も夕食のときに「こんなまずいものを俺に食べさせるな。料理が下手なお前は女として失格だ」と突然怒り出しました。その声に驚いた子どもたちも夕食を食べるのを止めてしまいました。一週間前に同じ料理を作ったときは、夫もおいしいと食べていたのに、何がいけなかったのか訳がわかりません。こんなことが度々あるので、最近では夫が帰ってくると思っただけで、胸がドキドキして気分が悪くなってしまいます。もう離婚したいと思いますが、子どもたちから父親を奪ってしまうことを考えると、私さえ我慢すればいいのではないかと思いついてしまいます。どうしたらいいでしょうか。

【相談員より】 夫の気分によって「まずい」と言われたり「おいしい」と言われたりするのでは、訳がわからなくなるのも当然ですね。大声を出したり、相手の人格を否定するような言葉を言い、相手の心を傷つけることは、精神的暴力でありDVです。あなたは今までよく我慢をされてきましたね。また、子どもがDVを目撃することは虐待になります。あなたは子どもたちから父親を奪うのではないかと心配されていますが、暴力のある今の家庭で育つことが、子どもたちにとって良い環境になるのでしょうか。あなたとお子さんのために、これからどうしたらいいか一緒に考えていきましょう。

ホームページをリニューアルしました!!



「事業所のためのお役立ち情報」として
職場環境の改善や女性の活躍などの情報へ
つながるサイトができました。

Facebookも始めました。
ご覧の上、良かったら
「いいね!」をクリックしてくださいね。

各種講座のお申込みが
専用フォームから
できるようになりました。

スマートフォンや
タブレット端末からも
見やすくなりました。

新しいURLはこちらです。⇒ <http://clover-toyota.jp/>

 ぜひ、ご覧の上、ご感想をお寄せください。E-mail: clover@city.toyota.aichi.jp

男性のための電話相談室 つらい時は、つらいと言おう
メンズコール★とよた
 毎月 第2・第4金曜日 (0565)
 午後6:00~8:00 **37-0034**
 (年末・年始・祝日休み) 相談無料・秘密厳守

あなたの声をお聞かせください!
 興味深かった記事、こんなテーマを取り上げてほしいなど、あなたの声をお寄せください。
編集後記
 介護に携わる人が更に増えることが予想され、仕事と介護の両立に向けた取組が求められます。さらに、育児と介護を同時に行うダブルケアも、新たな課題として表面化しつつあります。働き方改革はいち早く!

キラッ★とよた(とよた男女共同参画センター)のご案内

アクセス
 名鉄豊田市駅から徒歩8分
 愛知環状鉄道新豊田駅から徒歩3分

開館時間
 9:00~21:00
 日曜日は17:00まで
 月曜日休館
 (祝日は17:00まで開館)

夜間も開館しています!
 お仕事帰りにも
 ぜひお立ち寄りください